

日鶏協回覧板

平成 27 年 10 月 14 日

一般社団法人 日本養鶏協会

TPP の件

10 月 5 日に TPP(環太平洋連携協定)が大筋合意となりました。 今回の合意で鶏卵輸入に関して、関税率などは以下の様に変更される見通しとなりました。

(農林水産省ホームページより)

	品目	現在の関税率	合意内容	国内生産量 (直近3か年平均)	輸入量 (直近3か年平均)	
					うちTPP参加国	
鶏卵	殻付き卵	17%~21.3%	・冷蔵・冷凍のものについては、段階的に13年目に関税撤廃 (発効時に20%削減し、6年据え置きの後、 7年目から段階的に13年目に関税撤廃) ・その他のものについては、段階的に11年目に関税撤廃	鶏卵:251万ト	0.2万ト	総計:0.1万ト 米国:0.1万ト オーストラリア:0.0003万ト
	全卵又は卵黄	18.8%~21.3% 又は48~51円/kg	・全卵粉については、段階的に13年目に関税撤廃 (発効時に50%削減し、6年据え置き後に7年目に25%削減し、 6年据え置き後に13年目に関税撤廃) ・その他のものについては、段階的に6年目に関税撤廃		3.1万ト	総計:2.0万ト 米国:1.8万ト メキシコ:0.1万ト
	卵白	8%	・即時関税撤廃		9.5万ト	総計:0.9万ト メキシコ:0.4万ト 米国:0.2万ト

下の表は10月8日農林水産省公表情報を数値化したもので公式なものではありません。関税撤廃までの移行期間の税率は法整備の過程で確定するもので、ここに掲載したものは概算数値です。

鶏卵のTPP対応税率(農林水産省食肉鶏卵課説明を基に試算)

税率	現行	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
殻つき卵	17.0%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	11.6%	9.7%	7.8%	5.8%	3.9%	2.0%	0%
殻なし全卵(凍結・粉)	21.3%	10.7%	10.7%	10.7%	10.7%	10.7%	10.7%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	0%
凍結卵黄	20.0%	16.7%	13.3%	10.0%	6.7%	3.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
卵黄粉	18.8%	15.2%	12.0%	8.9%	5.8%	2.7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
卵白(凍結・粉)	8.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

今回の TPP 交渉の結果、鶏卵の関税撤廃を約束しており、鶏卵生産者にとっては厳しいものであります。特に米国は我が国に対する殻付き卵の最大の輸出国であり、同国の動向には注目していく必要があります。今回の結果から、鶏卵価格の低下圧力が増加することから、再生産を確保するセーフティネット(鶏卵生産者経営安定対策事業等)の強化が必要と考えます。

【日鶏協回覧板】 発行者：一般社団法人 [日本養鶏協会](#)

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 1 6 号馬事畜産会館内 (5 階)

TEL : (03)3297-5515 FAX : (03)3297-5519

発行日 2015 年 10 月 14 日

編集・発行責任者：島田博(fuwatama@jpa.or.jp)